

公営企業の決算報告

水道事業



事業概要

平成 21 年度の主な事業は、上野上水道第 8 次拡張事業計画に基づき、古郡・蔵縄手・上神戸地内での配水管布設工事などを行いました。

給水区域内配水施設事業としては、上野農人町などで、上野上水道配水管更新事業計画に基づく鋳鉄管布設替工事を、伊賀上水道エリアでは小杉地内などで、老朽管布設替工事を行いました。公共下水道・農業集落排水事業の進ちょくに合わせて阿山上水道エリアでは石川・波敷野・焼尾地内などで、上野上水道エリアでは、下神戸・上郡・予野地内などで、配水管布設替工事を行いました。また、小田系テレメータ・ポンプ・配電盤設備の更新工事、小田浄水場の改修工事を行いました。

平成 21 年度末の給水状況

現在給水戸数 (戸)	32,546
現在給水人口 (人)	80,698
配水能力 (m ³ /日)	48,725
年間総配水量 A (m ³)	12,127,308
1 日最大配水量 (m ³)	39,161
1 日平均配水量 (m ³)	33,226
1 人 1 日平均配水量 (ℓ)	412
有収水量 B (m ³)	9,951,970
1 人 1 日平均有収水量 (ℓ)	338
有収率 B / A (%)	82.06



水道事業の決算

		予算額	決算額	繰越額	差引
収益的収支	事業収益	28 億 7,181 万円	22 億 7,482 万円	—	増減額 △ 5 億 9,699 万円
	事業費用	28 億 8,233 万円	32 億 6,249 万円	2,429 万円	不用額 △ 4 億 445 万円
資本的収支	収入	8 億 8,954 万円	9 億 581 万円	—	増減額 1,627 万円
	支出	20 億 5,296 万円	19 億 3,488 万円	4,707 万円	不用額 7,101 万円

※消費税および地方消費税を含む。

経営状況

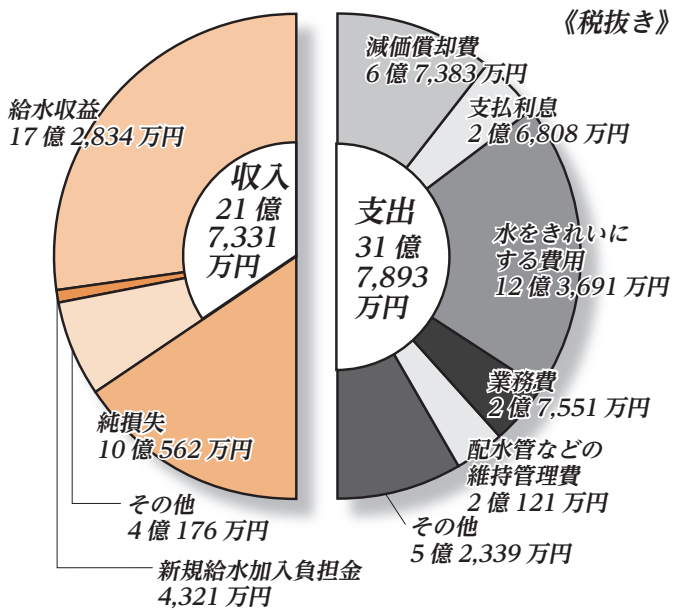
平成 21 年度末における給水戸数は 32,546 戸、年間総配水量は 12,127,308m³でした。

事業収益は 21 億 7,331 万円、事業費用は 31 億 7,893 万円で収益的収支 10 億 562 万円の純損失となり、前年度繰越利益剰余金 4 億 3,835 万円を加え、平成 22 年 3 月 31 日の未処理欠損金が 5 億 6,727 万円となりました。

純損失の主な理由として、伊賀水道用水供給事業の完成に伴う次の費用が挙げられます。

※平成 21 年度のみ発生した費用です。

- ①守田浄水場の固定資産除却費：約 5 億 500 万円
 - ②三重県企業庁から水を購入した費用：約 8 億 3,300 万円
- これに対し今年度、ゆめが丘浄水場が三重県企業庁から譲渡されることに伴い、安定した浄水場施設の運転・維持管理の習熟のため、1 年間、三重県企業庁の運営管理業務を受け、約 2 億 4,000 万円の収益がありました。今後もより一層の経営努力を行い、併せて安心安全な水道用水の安定供給に努めます。



市債残高

95 億 3,246 万円

病院事業



■ 事業概要

病院を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、上野総合市民病院は伊賀地域における公立医療機関として高度の診療機能を備え、地域の皆さんの健康保持を図るため総合的な医療の提供を行い、地域の中核病院としての使命達成と経営の健全化に取り組んでいます。

平成 21 年度は、磁気共鳴断層撮影装置 (MRI)、心臓カテーテル検査システムなどの医療機器購入、また、病院本館の耐震補強工事変更設計を行い、医療サービスの向上と施設環境の充実に努めました。

■ 各科利用状況

■ 上野総合市民病院			■ 健診センター (単位:人)	
区分	外来	入院	区分	受診者数
内科	41,478	21,721	一般健診	3,188
循環器科	394	3,281	人間ドック(一泊)	90
小児科	4,203	0	人間ドック(日帰り)	603
外科	6,485	7,901	PET-CT 健診	148
整形外科	11,222	7,223	PET-CT 保険適用	79
脳神経外科	463	0		
神経内科	907	0		
婦人科	3,168	16		
眼科	1,841	0		
耳鼻咽喉科	2,020	0		
皮膚科	1,762	0		
泌尿器科	8,854	2,862		
放射線科	1,974	0		

■ 上野総合市民病院	
・外来患者合計	84,771 人
・入院患者合計	43,004 人

■ 健診センター	
・受診者合計	4,108 人

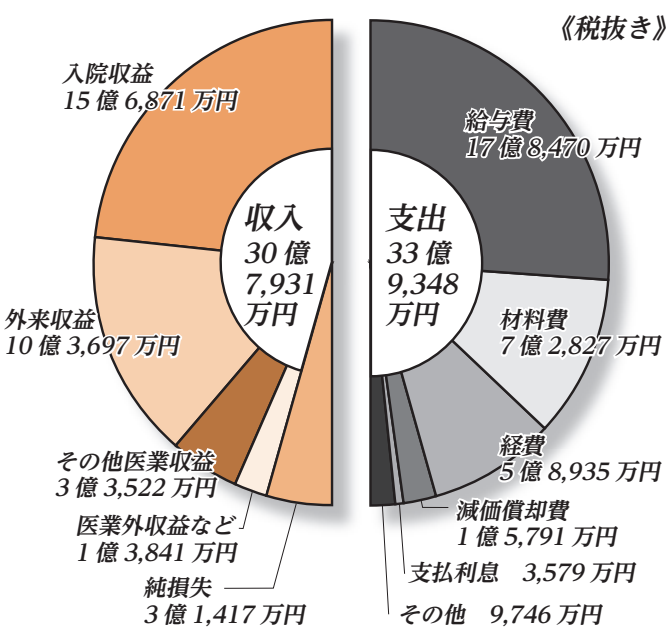
■ 経営状況

病院の利用状況は、外来患者数が延べ 84,771 人 (1 日平均 350 人*)、入院患者数は延べ 43,004 人 (1 日平均 118 人) となりました。

決算の状況は、事業収益 30 億 7,931 万円、事業費用 33 億 9,348 万円で 3 億 1,417 万円の純損失が生じ、前年度までの未処理欠損金 (累積赤字) 18 億 6,366 万円を合わせ、平成 22 年 3 月 31 日の未処理欠損金が 21 億 7,783 万円となりました。

今後もより一層の経営効率化を進めるとともに、地域の皆さんから信頼される公立医療機関として、その役割を果たすため努力します。

※…外来患者 1 日平均人数は年間通常診療日数の 242 日で除しています。



■ 市債残高

14 億 1,683 万円

■ 病院事業の決算

		予算額	決算額	繰越額	差引
収益的収支	事業収益	34 億 2,792 万円	30 億 8,901 万円	—	増減額 △ 3 億 3,891 万円
	事業費用	34 億 2,781 万円	33 億 7,466 万円	0 円	不用額 5,315 万円
資本的収支	収入	3 億 5,820 万円	3 億 5,726 万円	—	増減額 △ 94 万円
	支出	4 億 5,158 万円	3 億 2,748 万円	1 億 1,970 万円	不用額 440 万円

※消費税および地方消費税を含む。